

平成29年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	教員海外発表支援経費
研究者氏名・所属・職名	三浦 裕 （旭川校・教授）
発表標題	運動やスポーツが有する教育的価値について
発表学会名	The 23rd EFPM Congress http://www.fairplayeur.com/
発表年月日	2017年10月25-26日
発表場所 ※会場名・都市名（国名）	レオナルドプラザホテル・ハイファ（イスラエル）
発表内容の概要	<p>（日本語）「手段としてのスポーツが果たす和解の可能性」</p> <p>和解の手段としての、スポーツとは何か。これは、非常に難解な問題である。と、同時にこのことはスポーツ文化がもつ社会的機能を積極的・有効的に機能させていこうとする深遠な教育的課題でもある。本研究においては、体育科教育学の観点から、大規模なスポーツイベントの事例として平昌冬季大会への南北朝鮮合同参加、民族の問題として日本のアイヌ記念館を取り上げ、和解の手段としてのスポーツの可能性について検討を行う。</p>
	<p>（英語）"Possibility of sport as a means of reconciliation"</p> <p>What is sport as a means of reconciliation? This is a very difficult problem. And at the same time, this is also a profound educational subject which is intended to utilize the social function of sport culture positively and effectively. This research examines North and South Korea combined participation in the Pyeongchang Winter Olympic Games 2018 as a big sport event example and an Ainu national museum construction in Japan for Tokyo Summer Olympic Games 2020 as an ethnic issue example, as a case study on possibility of sport as a means of reconciliation, from the viewpoint of physical education methodology.</p>
	<p>グラフ・図・写真（発表の様子等）</p> 
成果の今後の活用等	<p>ヨーロッパでは、自国が戦争や戦場となった歴史を持つ国が多く、民族の種類や規模も大きい。しかし、日本の学習指導要領に示されているようにスポーツによる国際親善はあるにしても、世界平和はこのヨーロッパにおいてさえ実現してはいない。発表に対しては、すべて肯定的な意見であったことから、授業に取り入れることの妥当性が評価されたと考えられるため、今後は授業における題材化を試みる。</p>
その他参考となる事項	